

平成 25 年（ワ）第 46 号，第 220 号，平成 26 年（ワ）第 224 号

福島原発・いわき市民損害賠償請求事件

原 告 武田 悅子 外 1572 名

被 告 国・東京電力ホールディングス株式会社

準 備 書 面 (64)

(食品等の汚染状況について)

2018 (平成 30) 年 7 月 4 日

福島地方裁判所いわき支部（合議 1 係） 御中

原告ら訴訟代理人弁護士 小野寺利孝



同 広田次男



同 鈴木堯博



同 米倉勉



同 笹山尚人



同 渡辺淑彦



同 坂田洋介



外

第1 本準備書面の目的

本準備書面は、原告らいわき市民の損害論各論に位置づけられる準備書面の1つである。準備書面56（損害論総論）では、平穏生活権侵害の有無は、線量問題だけではなく、本件原発事故によって生じた社会的事象を広く考慮しなければ、平穏生活権侵害の有無を判断することはできない旨を述べた。

本書面では、その社会的事象の一つとして、本件原発事故によるいわき市内の客観的な汚染の状況のうち、①水道水汚染、②食品汚染、③海の汚染、④川の汚染の各状況について詳述する。水や食品が放射能で汚染されたため、原告らいわき市民は、放射能による身体的侵襲を被り、また、被るのではないかという強い恐怖感、不安感、危惧感を抱くこととなったのであり、原告らの身体権に接続する平穏生活権が侵害されたものである。

第2 食品中の放射線物質の基準値について

平成24年4月1日より施行された食品衛生法による食品中の放射性物質に関する基準値は、放射性セシウム（セシウム134及びセシウム137の和）について、以下のとおりとなっている。

飲料水	10 Bq/kg
牛乳	50 Bq/kg
一般食品	100 Bq/kg
乳児用食品	50 Bq/kg

上記基準は、平成23年6月16日付けで設定された脱水汚泥等を利用した副次産物の利用及び平成24年3月22日付けにて設定された碎石及び砂利の出荷基準と同等の基準である（甲A409）。

いわき市においては、本件原発事故後、上記基準値さえも超える食

品及び飲料水が数多く採取されている。

第3 水の汚染

1 摂取制限について

(1) 本件原発事故直後から平成24年3月31日までの基準

本件原発事故により飲料水が放射性物質で汚染されたことから、国は、放射性ヨウ素につき、成人300Bq/kg、乳児100Bq/kg、放射性セシウムにつき200Bq/kgを超過した時には、飲用を控えるよう通知を出した（甲A410 平成23年3月19日付け健水発0319第1号 厚生労働省健康局水道課長通知「福島第一・第二原子力発電所の事故に伴う水道の対応について」、甲A411 平成23年3月21日付け健水発0321 第1号厚生労働省健康局水道課長通知「乳児による水道水の摂取に係る対応について」）。

この方針は、「放射性物質に関する緊急とりまとめ」（平成23年3月29日食品安全委員会）、原子力安全委員会の助言を踏まえた原子力災害対策本部の見解、及び薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会がとりまとめた「食品中の放射性物質に関する当面の所見」を受けて、食品中の放射性物質に関する暫定規制値が当分の間維持される方針となつたことに対応するものであった。

飲料水は、全ての人が摂取し代替がきかないものであり、その摂取量が大きい。したがって、WHOの飲料水水質ガイドラインでは、飲料水中から検出されるセシウム及びヨウ素のガイダンスレベルを10Bq/kgと策定している（甲A412の表9.2）。同ガイダンスレベルを掲載している飲料水水質ガイドライン（第4版）は、WHOによる飲料水の水質に関する50年以上の手引きの上に成り立っており、公衆衛生を支える国の規制や基準を設定する際の厳然たる基盤を形成してきたもの

である（甲A412の7枚目第1段落）。

それにもかかわらず、本件原発事故後は、かかるWHOのガイダンスレベルに沿って策定された基準値（10Bq/kg）を大きく上回る上記のような基準値を設定せざるを得なかったのである。これは、本件原発事故による浄水場の放射能汚染が広範かつ深刻な事態に至っていたことを示している。

（2）平成24年4月1日以降の基準

平成24年4月1日より、食品衛生法における飲料水に係る新基準値が引き下げられた。

そのうえで、食品衛生法上、飲料水の新基準値は、放射性セシウム（セシウム134及び137）について、10Bq/kgとされた。これは、上記のWHOの飲料水中の放射性核種のガイダンスレベル（飲料水経由の内部被ばくの個別線量基準を0.1mSv／年に抑えるもの）に相当する基準値である（甲A412の表9.2）。

かかる新基準値の設定により、平成24年4月1日より、水道水については10Bq/kgが管理目標値として適用されている（甲A413）。

2 いわき市内の水の汚染状況（甲A414）

（1）いわき市内には、12箇所の浄水施設があるが、そのうちの8箇所の浄水施設において、基準値（10Bq）を超える放射性物質が検出されたほか、いわき合同庁舎の水道水からも高濃度の放射性物質が検出されている（甲A414、甲A415）。各施設における水から検出された放射性物質の状況は次のとおりである。

（2）いわき合同庁舎

いわき合同庁舎内の水道水からは、次表のとおり、放射性物質が検出されている。

いわき合同庁舎内

平成23年

月	日	ヨウ素(Bq/kg)	セシウム(Bq/kg)
3	16	64.6	
	18	93	16.3
	19	71.6	15.6
	20	49.2	
	21	103	
	22	114	
	24	215	
	25	100	
	26	85.7	
	27	67.5	
	28	42.2	
	29	27.8	
	30	16.5	
4	1	20	
	2	11.8	

(3) 平浄水場

平浄水場の水からは、放射性ヨウ素が、次表のとおり検出された。

平浄水場

平成23年		ヨウ素(Bq/kg)	セシウム(Bq/kg)
月	日		
3	17	43	
	18	68	
	19	99.2	
	28	6.1	
	31	7.5	

(4) 上野原浄水場

上野原浄水場の飲料水からは、放射性ヨウ素が、次表のとおり、検出された。

上野原浄水場

月	日	ヨウ素(Bq/kg)	セシウム(Bq/kg)
3	23	116	
	24	37	
	25	30.9	
	26	22.8	
	28	5.8	
	31	35.8	
4	2	12.3	

(5) 泉浄水場

泉浄水場では、平成23年3月31日に6.8Bq/kgの放射性ヨウ素が検出された。

(6) 山玉浄水場

山玉浄水場では、

平成23年3月28日に34.0Bq/kg、3月31日に13.0Bq/kg、4月3日に13.6Bq/kg の放射性ヨウ素が検出された。

(7) 川前浄水場

川前浄水場では、平成23年3月28日に9.7Bq/kg、3月31日に7.1Bq/kg の放射性ヨウ素が検出された。

(8) 入遠野浄水場

入遠野浄水場では、平成23年3月28日に7.1Bq/kg、3月31日に4.1Bq/kg の放射性ヨウ素が検出された。

(9) 旅人浄水場

旅人浄水場では、平成23年3月28日に24.0Bq/kg、3月31日に7.6Bq/kg の放射性ヨウ素が検出された。

3 小括

このように、本件原発事故により、人の生活に不可欠な水道水にまで放射能汚染が及び、いわき市を管轄する12の浄水場の内の8施設の水から、WHO ガイドラインによる基準（10Bq/kg）を大きく超える放射性物質が検出された。そのため、原告らいわき市民の中には、安全基準値を超える放射能に汚染された水を摂取した者もいることは否定できない。それと同時に、基準値を超えて放射能に汚染された水を摂取してしまったのではないか、これにより、内部被ばくを被ったのではないかという身体的侵襲への強い懸念を抱きながら過ごすことになった。

第4 食品（海産物を除く）の汚染

1 食品の放射能汚染

本件原発事故により、いわき市内で採取された数多くの食品から、基準値（100Bq/kg、乳幼児50Bq/kg 甲A413）を超える放射性物質が検出され、原告らいわき市民は、内部被ばくの不安にさらされた。

本件原発事故後（平成23年3月）から平成24年の間に採取された食品等の内、摂取基準値100Bq/kgを超えたもの並びに平成25年から平成26年までの間に乳幼児基準値50Bq/kgを超えたものは、別表1のとおりである。

別表1からもわかるように、本件原発事故による放射性物質で汚染された食品は、牛乳、乳製品、野菜、根菜、果実、穀類、肉、野生鳥獣類、きのこ、山菜、魚など多岐にわたったことから、原告ら多くのいわき市民は、内部被ばくをおそれて、いわき市で採取された食品を摂取できなくなってしまった。

2 なくならない食品汚染

別表1の汚染食品のうち、ブロッコリー、イチゴ、ホウレンソウ、キヤベツ、タケノコ、カブ、ウメについては、本件原発事故後1か月～2か月程度が経ったころにようやく、基準値を下回るようになったものの、その他の食品については、放射能に汚され染継続している。

その一例を挙げると、タケノコは高濃度の放射性物質に汚染された状況が継続し、本件事故後1年以上が経過した平成24年4月5日の時点においてもなお、合計400Bqもの放射性セシウムが検出されている。

また、主食となる穀類も、平成23年8月9日に採取された小麦から合計202Bq/kgの放射性セシウムが検出され、本件事故から1年半以上が経過した平成24年11月20日時点においても、米（玄米）から

143. 6 Bq/kg もの放射性セシウムが検出されている。

さらに牛肉も、平成23年10月19日に採取されたものから、122 Bq/kg の放射性セシウムが検出された。

野生鳥獣の汚染は甚だしく、本件原発事故後1年半が経過した平成24年10月29日に採取されたイノシシ肉からは、33000 Bq/kg もの放射性セシウムが検出され、本件原発事故から2年以上が経過した平成25年12月27日に採取されたヤマドリ肉からは、606 Bq/kg もの放射性セシウムが検出されている。

そして、本件事故から3年以上が経過した平成26年に至っても、ユズ、クリ、大豆から、乳幼児の摂取基準値（50 Bq/kg）を上回る放射性物質が検出されている。

さらには、平成29年9月19日に採取したクリから放射性セシウム 110 Bq/kg が検出された。そのため、平成29年9月22日付けで、県から当該生産者に対して、「栗」の出荷を差し控えるよう要請するという事態も未だに起きている。

後述する水産物の放射能汚染も深刻であり、本件原発事故後7年以上が経過した現在においても、福島県の漁港で水揚げされる水産物は、その相当数に出荷制限がかけられ、試験操業しかできていない。

3 キノコ、山菜

キノコ、山菜類の汚染は深刻である。山林の除染が手つかずであることから、キノコや山菜の放射能汚染がなくならないのは当然である。これらの汚染状況は別表1のとおりである。本件事故後1年以上が経過した平成24年4月24日に採取されたゼンマイからは未だに1101 Bq/kg もの放射性物質が検出されている。

したがって、いわき産のキノコや山菜類は、本件事故後1年経過後

に至っても、次々と出荷制限等がなされた。その状況は、次のとおりである。

原木ナメコ(露地)につき、平成23年10月31日付け出荷制限、
乾シイタケにつき、平成23年11月18日に出荷の自粛、
ユズにつき、平成24年1月10日、出荷制限(平成27年1月29日解除)、
タケノコにつき、平成24年4月9日、出荷制限、
タラノメにつき、平成24年5月1日、野生のものに限り出荷の制限、野生以外のものは平成24年4月19日に出荷の自粛、
ゼンマイにつき、平成24年5月2日、出荷の制限、
ワラビにつき、平成24年5月10日、出荷の制限(平成29年9月11日解除)、
コシアブラにつき、平成24年5月14日、出荷の制限
サンショウ(野生のものに限る)につき、平成25年5月15日、
出荷の自粛。

また、クリについても、平成24年10月12日、出荷の制限が指示された。その後、平成26年11月17日に栗の出荷制限は解除されたものの、平成29年9月22日、基準値を超える放射性セシウムが検出される事態が起きている。

4 検査の開始前の食品について

食品汚染の検査は、平成23年3月19日に採取されたものから開始されたことから、それまでに採取された食品については、市場に流通してしまった可能性も否定できない。

したがって、原告らいわき市民は、放射性物質に汚染されているにもかかわらず、検査開始前に流通してしまった食品を摂取してしまっ

たかもしれないという、放射能被ばくによる身体的侵襲への恐怖心や強い不安を抱くことになった。

第5 海産物の汚染

1 本件原発事故前のいわき市の海

福島県いわき市沖は、千島海流（寒流）と日本海流（暖流）がぶつかる「潮目の海」として、プランクトンが豊富に発生し、大小さまざまな魚が集まる豊かな漁場であった。いわき市沖の漁場で育った魚は、「常磐もの」と呼ばれ、築地でも目利きの仲買人が高値で購入する魚であった。その種類も豊富であり、カツオ、サンマ、サバなどの回遊魚ばかりでなく、アンコウ、メヒカリ、ヒラメ、ヤナギガレイ、ウニ、アワビなど、沿岸に生息する魚介類が、四季を通じていわき市内の各漁協に水揚げされていた。

いわき市は、「海の街」として、小名浜地区を中心に、水産加工品の開発・製造も盛んであった。いわき市の代表的な水産加工品としては、ウニの貝焼き、カレイの一夜干し、サンマのミリン干し、粕漬など、様々な種類の加工品がある。これらの加工品は、いわき市民から他の地域に住む人へのお中元やお歳暮などの贈答品として利用されていた。また、いわき市に年間1000万人も来ていた観光客の土産物としても重宝されていた。

2 本件原発事故後の海の状況

ところが、本件原発事故により、福島県沖では、魚介類から国の基準値を大きく超えた放射性物質が検出された。そのため、沿岸漁業及び底びき網漁業は、試験操業（安全性が確保される魚種を対象に、小規模な操業と販売を試験的に行い、出荷先での評価を調査し、福島県

の漁業再開に向けた基礎データを得るための操業) しか行っておらず、本格操業開始の目途は立っていない。

沿岸流が南に流れることにより、原発の南側は、北側に比べて放射性セシウム濃度が高くなっている。原発の南に位置するいわき市沿岸は、相馬方面より一層深刻な状況にある。

本件原発事故前までは、「常磐もの」として珍重されていたいわき沖の魚は、今や築地では「捨て値」しかつかない商品に成り下がってしまっているのである。

3 海産物の汚染

既述のとおり、本件原発事故前、いわき市は漁業の盛んな町であり、原告らいわき市民は、いわき市内の漁港で水揚げされた魚介類を好んで食べていた。

しかしながら、本件原発事故及びその後の汚染水漏れにより福島県沖の海は放射性物質により汚染され、いわき市内の漁港で水揚げされる魚はその多くが放射性物質に汚染された。いわき市内の漁港で水揚げされた魚介類の放射能汚染状況は、別表2のとおり、本件原発事故後3年以上が経過した平成26年4月に至ってもなお、基準値を超えた放射性物質を取り込んだ魚介類が水揚げされている。

かかる魚介類の放射能汚染は、残念ながら現在でも継続している。

第6 まとめ

上記のとおり、本件原発事故直後の時期(平成23年4月末まで)は、いわき市内の水道水が放射能に汚染された。また、いわきで採取される食品は、2013(平成25)年5月ころまではほぼ毎月にわたり、何らかの食品から基準値を超える放射性物質が検出される状況にあった

ものである。こうした水や食品の放射能汚染により、原告らいわき市民は、放射能被ばくによる身体的侵襲を被り、また、身体的侵襲を被ったのではないかという恐怖心、強い危惧感、不安感を抱くことになった。これにより、原告らいわき市民は、身体権に接続した平穏生活権の侵害を被ったものである。

そして、2015（平成23）年5月以降も、いわき産の食品の汚染はなくならず、とくに海産物は、2014（平成26）年4月に至っても、多くの魚介類から基準値を超える放射性物質が検出されていた。その他の食品からも、基準値を超える放射性物質の検出はみられており、原告らいわき市民らの健康に対する不安感は払しょくされたわけではなく、身体権に接続した平穏生活権侵害は、継続しているものである。

以上

別表1 いわき市 食品汚染の状況(水産物除く)

食品分類	品目	採取年	採取日	ヨウ素131 (Bq/kg)	セシウム134 (Bq/kg)	セシウム137 (Bq/kg)	合計
乳・乳製品	原乳	2011 (平成 23)年	3月19日	980		6.6	986.6
野菜類	ブロッコリー		3月21日	8100	870	910	9880
乳・乳製品	原乳		3月22日	390			390
野菜類	イチゴ		3月24日	1400	110	110	1620
野菜類	シイタケ		3月25日	68	33	33	134
野菜類	ブロッコリー		3月28日	2300	330	360	2990
野菜類	イチゴ		3月31日	300	170	170	640
野菜類	シイタケ		4月1日	3100	450	440	3990
野菜類	ブロッコリー		4月4日	660	340	290	1290
野菜類	イチゴ		4月7日	110	100	120	330
野菜類	シイタケ		4月8日	450	47	46	543
野菜類	シイタケ		4月8日	270	60	64	394
野菜類	ブロッコリー		4月11日	160	120	120	400
野菜類	シイタケ		4月14日	330	47	51	428
野菜類	シイタケ		4月14日	180	140	130	450
野菜類	ホウレンソウ		4月14日	340	26	24	390
野菜類	タラの芽		4月18日	43	37	30	110
野菜類	ブロッコリー		4月18日	110	160	140	410
野菜類	ブロッコリー		4月18日	40	69	69	178
野菜類	ホウレンソウ		4月20日	160	36	38	234
野菜類	ホウレンソウ		4月20日	560	180	180	920
野菜類	キャベツ		4月20日	14	130	120	264
野菜類	原木シイタケ		4月21日	23	51	40	114
野菜類	原木シイタケ		4月21日	76	120	130	326
野菜類	原木シイタケ		4月21日	96	110	130	336
野菜類	原木シイタケ		4月21日	29	50	47	126
野菜類	ブロッコリー		4月25日	56	170	200	426
野菜類	ブロッコリー		4月25日	47	72	68	187
野菜類	タケノコ		4月27日		340	310	650
野菜類	原木シイタケ		4月27日	31	36	35	102
野菜類	原木シイタケ		4月27日	8.4	54	54	116.4
野菜類	ホウレンソウ		4月27日	28	85	85	198
野菜類	タケノコ		5月2日		200	210	410
野菜類	ブロッコリー		5月2日		56	52	108
野菜類	カブ		5月2日		96	94	190
野菜類	ホウレンソウ		5月2日	110	110	110	330
野菜類	ホウレンソウ		5月2日	130	60	59	249
野菜類	タケノコ		5月3日		320	290	610
野菜類	タケノコ		5月3日		170	190	360
野菜類	タケノコ		5月3日		550	580	1130
野菜類	タケノコ		5月3日		560	610	1170
野菜類	タケノコ		5月3日		150	150	300
野菜類	タケノコ		5月9日		93	110	203
野菜類	ブロッコリー		5月9日	15	200	230	445
野菜類	タケノコ		5月12日		220	230	450
野菜類	タケノコ		5月12日		490	510	1000
野菜類	タケノコ		5月19日		81	85	166
野菜類	タケノコ		5月26日		220	240	460
野菜類	ウメ		5月30日		62	51	113
野菜類	タケノコ		6月2日		180	150	330
野菜類	タケノコ		6月2日		66	71	137
野菜類	タケノコ		6月2日		110	96	206
野菜類	タケノコ		6月9日		160	170	330
野菜類	タケノコ		6月16日		130	160	290
その他	ナタネ		7月16日		130	150	280
穀類	小麦		8月4日		56	56	112

野菜類	菌床シイタ
穀類	小麦
穀類	小麦
野菜類	カラスタケ
野菜類	チチタケ
野菜類	アミタケ
野菜類	カボス
野菜類	原木シイタ
野菜類	ユズ
野菜類	ユズ
肉・卵	イノシシ肉
肉・卵	牛肉
肉・卵	牛肉
肉・卵	イノシシ肉
肉・卵	イノシシ肉
肉・卵	牛肉
肉・卵	牛肉
野菜類	オヤマボク
野菜類	ナメコ
肉・卵	カルガモ肉
穀類	大豆
野菜類	原木シイタ
野菜類	ユズ
野菜類	ユズ
その他	乾シイタケ
肉・卵	ヤマドリ肉
肉・卵	イノシシ肉
肉・卵	キジ肉
肉・卵	ヤマドリ肉
肉・卵	キジ肉
肉・卵	イノシシ肉
肉・卵	イノシシ肉
肉・卵	マガモ肉
肉・卵	ヤマドリ肉
肉・卵	キジ肉
肉・卵	キジ肉
野菜類	ユズ
肉・卵	イノシシ肉
肉・卵	キジ肉
肉・卵	キジ肉
肉・卵	キジ肉
肉・卵	マガモ肉
肉・卵	マガモ肉
肉・卵	カルガモ肉
農産物	タケノコ
農産物	タラの芽
農産物	ゼンマイ
農産物	ワラビ
農産物	ワラビ
農産物	コシアブラ
野生鳥獣肉	イノシシ肉

8月4日		89	93	182
8月9日		92	110	202
8月9日		70	80	150
8月25日		210	210	420
9月7日		2800	3400	6200
9月7日		370	440	810
9月13日		65	81	146
9月15日		210	24	234
9月21日		210	250	460
9月22日		190	220	410
10月2日		1086		1086
10月6日		47	68	115
10月6日		42	56	98
10月7日		312		312
10月10日		654		654
10月19日		45	58	103
10月19日		42	45	87
10月19日		51	71	122
10月23日		190	270	460
10月28日		610	750	1360
10月29日		43.3	41	84.3
11月1日	<14	100	140	240
11月10日	<12	140	190	330
11月13日	<9. 5	91	120	211
11月14日	<9. 6	78	98	176
11月15日	<22	1400	1700	3100
11月20日	<21	736		736
11月21日	<15	193		193
11月27日	<15	140		140
12月1日	<14	286		286
12月1日	<9. 9	96.5		96.5
12月4日	<21	1410		1410
12月17日	<17	738		738
12月25日	<9. 3	81.8		81.8
1月1日	<14	203		203
1月3日	<14	87.2		87.2
1月4日	<8. 3	123		123
1月6日	<15	410	520	930
1月6日	<14	432		432
1月21日	<14	341		341
1月22日	<11	84.3		84.3
2月15日	<12	117		117
2月16日	<14	151		151
3月7日	<11	129		129
3月7日	<12	143		143
3月13日	<13	124		124
4月4日		42	59	101
4月4日		380	540	920
4月4日		130	160	290
4月5日		180	220	400
4月24日		166	235	401
4月24日		449	652	1101
5月7日		62.4	71.1	133.5
5月7日		83.4	111	194.4
5月10日		129	158	287
7月3日		80	125	205
9月2日		53.8	85.2	139
9月3日		125	194	319
9月24日		121	202	323

2012
(平成
24)年

農産物	クリ	10月9日		51.7	92.1	143.8	
その他	干し柿	10月15日		39.2	65.5	104.7	
農産物	米(玄米)	10月16日		39.6	63.2	102.8	
野生鳥獣肉	キジ肉	10月17日		37.2	57.8	95	
野生鳥獣肉	イノシシ肉	10月29日		12300	20700	33000	
野生鳥獣肉	カルガモ肉	11月10日		47	83.3	130.3	
農産物	米(玄米)	11月20日		52.3	91.3	143.6	
農産物	米(玄米)	11月20日		35.6	54.9	90.5	
農産物	米(玄米)	11月20日		35.3	61.2	96.5	
野生鳥獣肉	ヤマドリ肉	1月3日		345	608	953	
野生鳥獣肉	イノシシ肉	1月18日		122	222	344	
農産物	ホウレンソウ	2月4日		16.4	36.5	52.9	
水産物	アユ	5月5日		26.6	55.5	82.1	
野生鳥獣肉	イノシシ肉	5月8日		244	465	709	
農産物	サンショウ	5月10日		117	217	334	
農産物	ウワバミソ	5月10日		28.7	37.5	66.2	
農産物	モミジガサ	5月17日		16.9	37.7	54.6	
野生鳥獣肉	イノシシ肉	9月14日		63.4	140	203.4	
その他	ハチミツ	10月1日		16.6	50	66.6	
野生鳥獣肉	イノシシ肉	10月10日		22.4	49.4	71.8	
その他	あんぽ柿	10月25日		14.4	38.2	52.6	
その他	干し柿	10月31日		15.8	45.4	61.2	
その他	ハチミツ	11月5日		19.1	35.2	54.3	
農産物	小豆	11月8日		17.4	41.6	59	
農産物	ユズ	12月11日		10.6	42	52.6	
農産物	ユズ	12月12日		18.9	52	70.9	
農産物	ユズ	12月12日		16.2	51.9	68.1	
農産物	ユズ	12月15日		15.2	41.7	56.9	
野生鳥獣肉	キジ肉	12月15日		16.8	39.3	56.1	
野生鳥獣肉	マガモ肉	12月15日		56.7	125	181.7	
野生鳥獣肉	ヤマドリ肉	12月27日		187	419	606	
農産物	ユズ	2014 (平成 26)年	1月6日		15.8	34.8	50.6
農産物	クリ	9月16日		13.4	50.3	63.7	
農産物	大豆	11月18日		18.9	49.8	68.7	

別表2 いわき 水産物汚染の状況

品目	採取年	採取日	ヨウ素131 (Bq/kg)	セシウム134 (Bq/kg)	セシウム137 (Bq/kg)	合計
キツネメバル	2013(平成25)年	2月24日		49.4	87.9	137.3
ババガレイ		3月4日		51.7	108	159.7
ヒラメ		3月4日		82.4	146	228.4
コモンカスベ		3月4日		113	215	328
クロソイ		3月4日		201	382	583
アイナメ		3月4日		151	271	422
ムラソイ		3月8日		44.5	90.4	134.9
スズキ		3月10日		56.2	120	176.2
コモンカスベ		3月10日		48.2	111	159.2
クロソイ		3月10日		45.5	73.5	119
コモンカスベ		3月11日		39.5	78.7	118.2
ババガレイ		3月11日		92.7	178	270.7
シロメバル		3月13日		82.6	148	230.6
マダラ		3月16日		70.7	118	188.7
ババガレイ		3月17日		123	253	376
シロメバル		3月17日		42.5	100	142.5
ムラソイ		3月17日		53.1	90.3	143.4
コモンカスベ		3月17日		82.4	176	258.4
イシガレイ		3月17日		48.3	80.7	129
アイナメ		3月17日		92.6	155	247.6
アイナメ		3月17日		64.5	126	190.5
ババガレイ		3月22日		45.4	86.7	132.1
クロソイ		3月24日		62.7	118	180.7
コモンカスベ		3月25日		77.4	141	218.4
エゾイソアイナメ		3月25日		45.9	82.9	128.8
アイナメ		3月25日		47.2	92.2	139.4
マコガレイ		3月25日		43.6	85.9	129.5
ババガレイ		3月25日		76.4	123	199.4
クロダイ		3月27日		324	582	906
クロソイ		4月1日		54.9	106	160.9
アイナメ		4月1日		60.1	129	189.1
ババガレイ		4月1日		82.8	162	244.8
コモンカスベ		4月1日		47.4	102	149.4
マコガレイ		4月5日		38.6	88.2	126.8
ババガレイ		4月10日		29.6	74.4	104
シロメバル		4月14日		46.2	70.6	116.8
アイナメ		4月19日		38.3	79.8	118.1
シロメバル		4月19日		47.8	98.7	146.5
イシガレイ		4月21日		33.7	69.7	103.4
アイナメ		4月21日		38.9	80.3	119.2
スズキ		4月22日		171	326	497
スズキ		4月22日		112	215	327
シロメバル		4月23日		50.6	105	155.6
アイナメ		4月23日		35.7	82.2	117.9
マゴチ		4月26日		35.7	71.1	106.8
ヒラメ		4月29日		77.8	134	211.8
スズキ		5月1日		42.6	112	154.6
イシガレイ		5月8日		89.7	203	292.7
スズキ		5月10日		38.8	64	102.8
クロソイ		5月10日		56.4	108	164.4
ホシザメ		5月12日		38.1	96.8	134.9
コモンカスベ		5月13日		68.7	119	187.7
スズキ		5月20日		46.9	78.5	125.4
コモンカスベ		5月20日		77.3	120	197.3
クロソイ		5月26日		77	156	233
マコガレイ		5月26日		38.6	101	139.6

ババガレイ	5月27日	109	213	322
ババガレイ	6月2日	37.6	87.5	125.1
アイナメ	6月7日	40.3	87.1	127.4
シロメバル	6月7日	63.7	121	184.7
ヒラメ	6月9日	40.1	97.1	137.2
アイナメ	6月9日	41.5	99.2	140.7
コモンカスペ	6月9日	57.1	125	182.1
ヌマガレイ	6月10日	102	183	285
マダラ	6月15日	70.1	133	203.1
アイナメ	6月16日	37.1	72.1	109.2
ババガレイ	6月16日	34.5	76.8	111.3
コモンカスペ	6月16日	64.8	123	187.8
ホウボウ	6月18日	52.4	93.6	146
マダラ	6月20日	29.1	82.8	111.9
エゾイソアイナメ	7月1日	117	249	366
コモンカスペ	7月8日	56.5	121	177.5
ババガレイ	7月22日	38.5	112	150.5
コモンカスペ	7月22日	36.1	80.4	116.5
イシガレイ	7月22日	92.3	18.1	110.4
シロメバル	8月4日	37.5	85.8	123.3
マコガレイ	8月5日	59.6	117	176.6
アイナメ	8月12日	55.5	111	166.5
エゾイソアイナメ	8月12日	147	259	406
コモンカスペ	8月18日	90.2	20.3	110.5
コモンカスペ	8月26日	43.3	105	148.3
コモンカスペ	9月30日	28.8	70.8	99.6
クロダイ	10月11日	50.1	112	162.1
コモンカスペ	10月15日	57.9	139	196.9
コモンカスペ	10月28日	45.9	91.3	137.2
イシガレイ	10月28日	38.2	72	110.2
イシガレイ	10月31日	53.9	146	199.9
シロメバル	11月15日	37.4	82.9	120.3
キツネメバル	11月15日	35.4	82	117.4
コモンカスペ	11月18日	30.9	71.7	102.6
アイナメ	11月18日	33.1	76.2	109.3
ムシガレイ	12月9日	39	80	119
ババガレイ	12月9日	39.1	87.1	126.2
コモンカスペ	2月7日	52.5	124	176.5
ババガレイ	2月7日	37.5	103	140.5
クロソイ	2月13日	95.5	286	381.5
クロソイ	2月21日	75.6	170	245.6
コモンカスペ	2月21日	34.5	85.8	120.3
イシガレイ	2月26日	81.1	224	305.1
スズキ	3月3日	53.4	132	185.4
ヒラメ	3月9日	65.8	169	234.8
イシガレイ	3月10日	43	110	153
スズキ	3月17日	48.3	115	163.3
スズキ	3月24日	43.6	113	156.6
マコガレイ	3月24日	42.7	122	164.7
マコガレイ	4月13日	44.3	107	151.3
スズキ	4月14日	43.2	88.2	131.4
コモンカスペ	4月22日	51.1	101	152.1
ババガレイ	4月27日	41.1	103	144.1

2014(平成
26)年